

総合科学部 日本語教育関連授業

1. 概要 :

国際センターは、総合科学部の日本語教育に関する専門科目「日本語教員養成に関する科目」のうち日本語教授法 I・II、日本語教育方法論 I・II、日本語教育演習／日本語教材研究の 5 科目を日本語教員が交代で担当している。日本語教授法 I・II、日本語教育方法論 I・II は隔年開講のため、2012 年度は以下の 3 科目が開講された。

2. コーディネーター：大石 寧子

3. 実施概要：

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1・2				日本語教育演習／ 日本語教材研究 (後期)	
3・4		日本語教育方法論 I (前期) 日本語教育方法論 II (後期)			
5・6					
7・8					
9・10					

日本語教授法 I 前期

- ・ 担当： 大石 寧子
- ・ 受講人数： 25 名（含. 留学生－中国 1 名）
- ・ 使用教材： 適宜プリント配付
- ・ 概要： 日本語教育のクラスを運営するための方法について、小グループに分かれてテーマに沿って考察・検討・ワークショップを行った。
主な内容は以下のようである。

- ① 日本語の教科書について
- ② レディネス・ニーズ調査の意味と方法

- ③ コースデザイン－カリキュラム・シラバスとは
- ④ 教案作成の意味と方法
- ⑤ クラスの流れ－導入～タスク、宿題
- ⑥ 評価について

日本語教授法Ⅱ 後期

担当： 橋本 智

受講人数： 8名

- ・ 使用教材： 適宜プリント配布
- ・ 概要： 日本語教育に関係している様々な領域の理論や実践を検討した。内容は、異文化理解、第二言語習得、教室でのインタークション、学習者の個人差、指導方法、コースデザイン（シラバス）、評価。「よい日本語教師」とはどんな人なのかを考え、どうすれば学習者に効果的に言語習得をさせるのかを学んだ。

日本語教育演習／日本語教材演習 後期

・ 担当： 大石 寧子

・ 受講人数： 8名

・ 使用教材： 「みんなの日本語初級Ⅰ本冊」スリーエーネットワーク「みんなの日本語初級Ⅰ翻訳・文法解説」〃

- ・ 概要： 「みんなの日本語」を使って、本コースのために留学生を募集し、実際に授業をする実習形式をとった。扱う範囲は1課～5課までとし、1回30分ずつ2名で担当することとした。実習事前に当該課担当の二人は、授業外にシラバス抽出・選択をし、教案を作成し、教員の指導を受けた。教案の書き直しをし、教材教具の調達をして、クラスに臨んだ。その日の授業では実習のあとに教員がその日のまとめをして留学生を帰した後クラス全体で振り返りを行った。今期の受講者8名は、留学生で、日本語学科からの交換留学生留学生6名と日本語専攻予定の研究生と院生であった。